

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	365	壬生野福祉ふれあいセンター管理運営事業	会計	01	一般会計
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	款	03	民生費
担当部課名	伊賀支所 健康福祉課		項	02	老人福祉費
作成者氏名	福永 保	連絡先	目	01	老人福祉総務費
		0595-45-9105	細目	104	老人福祉センター等維持管理経費
			細々目	02	壬生野福祉ふれあいセンター管理運営経費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	地域住民(高齢者)の生きがいと文化の創造性、趣味または創作活動を通して健康で豊かな生活を推進する。	成果(どうなるのか)	介護予防のリハビリや交流事業の創作活動等により、在宅でいきいきと自立した生活ができる
	本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 健康器具を使用してリハビリを行い介護予防を目指す (月～土) 講師派遣による歌の会・カラオケ等の音楽療法、お菓子作り、転倒予防教室 親睦バス旅行(尾張温泉) 11/10 		
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先:)		根拠法令・要綱等	壬生野福祉ふれあいセンター設置条例
市内の類似施設	柘植老人憩いの家			

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)	事業費(B)	4,772	4,566	4,566
	委託料	306	309	309
	賃金	2,698	2,471	2,471
	需用費	990	904	904
	その他	778	882	882
合計(A+B)		8,372	8,166	8,166
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担 その他特財			
一般財源		8,372	8,166	8,166
上記①～③に関する特記事項				
臨時職員 2名				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
機能回復訓練(リハビリ)	人	7,144	7,300	7,500			
創作活動 音楽療法	人	58	70	80			
カラオケ	人	16	30	45			
おやつ作り	人	146	150	155			
親睦旅行	人	25	35	45			
七夕会 クリスマス会	人	23 25	40 50	50 60			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
通所者数	壬生野地区と近隣地区高齢者一部人数(793人)を分母とし、1日平均リハビリ人数(24.3人)を分子とする通所者比率を指標としました。	%	3.1 目標 (5)	3.6	3.8
		人	目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成13年4月に新築を行い現在の施設が完成した。通所者数については、平成14年5月に最高約 1,477人年間13,933人が最高で平成15年度は年間9,948人と大幅に減少し、17年度は7,144人である。原因として、通所者大半は 行政バスで通所しており、介護予防のリハビリ器具の台数が17台で全員が使用できない事が考えられる。また、リハビリ用機器等については、家庭用のマッサージ機等であり、1日中運転しているため損耗が激しく、毎年何台か修繕している。中には、修繕不能品もあるが住民からの要望が強いため今後新品の購入が必要と考えられる。創作活動については、活発に参加しているので行事の回数を増やしたい。

評価	必要性	4	現在通所者は 同じ人が多く、地域全体で交流の場として有効に利用できるため、多くの人が参加できるよう、地域別のリハビリ利用日設定等の事業充実を図っていきたい。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A